

6月定例会・議案など	2～3
6月定例会・一般質問	3～7
議案等に対する各議員の賛否状況	6～7
議員表彰、議員の一般行政視察など	8
委員会等活動報告	8

令和5年5月25日から令和5年7月12日までの出来事を掲載しました。



タイトル：ハーベストムーンと駅
撮影者：川村 潔さん

表紙写真は、令和5年1月11日から令和5年7月10日の期間に応募があったものです。ご応募いただきありがとうございました。表紙写真募集の次回の締切は令和6年1月10日です。

議 会 ト ピ ッ ク ス

議員による管内施設の視察を実施

令和5年6月5日(月)、6月6日(火)の両日において、改選後の議員による管内施設の視察を実施しました。

1日目は、大森勝山遺跡、高岡の森弘前藩歴史館、弘前総合医療センターなどを視察し、2日目は、津軽ダム、子育て世代包括支援センターなどを視察しました。

視察先

6月5日(月)

大森勝山遺跡、高岡の森弘前藩歴史館、岩木総合支所、西部学校給食センター、弘前総合医療センター、弘前れんが倉庫美術館、弘前地区消防事務組合消防本部

6月6日(火)

津軽ダム、相馬総合支所、星と森のロマンピア、子育て世代包括支援センター、駅前こどもの広場、弘前城本丸石垣修理事業



弘前れんが倉庫美術館にて



弘前城本丸石垣修理事業の説明を受ける様子

(参加者) 須藤江利加 工藤 裕介 志村 洋子 三浦 行
 赤平 泰衛 工藤 賢生 樋川 篤子 竹浪 敦
 畑山 聡 千葉 浩規 ※敬称略。議席番号順に記載。

令和5年第2回定例会

市長提出議案 13件

6月補正後の令和5年度予算

一般会計	824億1868万5千円
(6月補正額)	19億7299万2千円
特別会計	410億1788万9千円
(6月補正額)	200万円

●令和5年度弘前市一般会計補正予算(第3号)

物価高騰対策として、低所得のひとり親世帯や事業者への支援に要する経費などを計上するほか、第二中学校等複合施設の整備に係る基本・実施設計業務委託料などを追加するものです。

また、継続費及び地方債について所要の補正をするとともに、消防自動車整備事業などに係る繰越明許費を設定するものです。

補正額 19億3799万2千円

補正予算(第3号)から一部の事業をご紹介します

◇農業・観光連携りんご産業活性化事業

援農ボランティアツアーの実施による新たな補助労働力の確保及び弘前産りんごや観光のPRを実施

- ・農業・観光連携りんご産業活性化事業業務委託料
(補正額：1000万円)



労働力不足対策のため、収穫作業を支援する
援農ボランティア

条例の改正 7件

○弘前市国民健康保険条例の一部を改正する条例案

国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、国民健康保険料の後期高齢者支援金等賦課額の限度額及び軽減適用に関する所得判定基準を改定するため、所要の改正をしようとするものです。

厚生常任委員会における審査過程での質疑・意見

委員からの質疑に対する理事者の答弁

【問】物価高騰の影響が続く中で賦課限度額の引上げに対しては、国へ訴えるべきと考えるが。

【答】今回の引上げは、被保険者の負担バランスの是正等を目的としていることから、必要な改定であると考えている。

【問】賦課限度額に達する収入額はどうか。

【答】賦課限度額に達する収入額は、1人世帯において約809万円が約875万円に、5人世帯において約689万円が約759万円となるものである。

委員から出された意見

【条例案に反対】

- ・後期高齢者支援金等分の賦課限度額が2万円の引上げとなり、収入に応じた保険料となっていない
- ・賦課限度額は16年間で36万円も引き上げられ、増え続けている状況である
- ・負担が増える高所得層において、必ずしも暮らしに余裕があるわけではない

【条例案に賛成】

- ・国の方針に合わせたものであり、軽減所得判定基準の見直しや、高所得者への負担を増やすことで中・低所得層の負担軽減が図られることは、社会保険制度として被保険者の負担の公平性が重要となる国保の仕組みに合致する

【会期：令和5年6月9日(金)～7月4日(火)】

弘前市は、SDGs達成に向けて優れた取組を提案した自治体として、青森県内自治体で初めて「SDGs未来都市」に選定されており、特に先導的な取組として毎年度10都市のみ選定される「自治体SDGsモデル事業」にも、北東北3県で初めて選定されています。

●令和5年度弘前市一般会計補正予算(第4号)

国の「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」に選定されたことを受け、日本一のりんご産業の持続的な発展を目指し実施する、経済、社会、環境の三側面をつなぐ統合的取組に係る経費を計上するものです。

補正額 3500万円

補正予算(第4号)の内容をご紹介します

◇SDGs普及啓発事業

SDGsの取組に係る普及啓発活動を実施

- ・SDGs普及啓発業務委託料
(補正額：1176万6千円)
- ・SDGs教育旅行等造成業務委託料
(補正額：165万円)
- ・先進地視察旅費 ほか (補正額：158万4千円)

◇搾汁残渣等エネルギー化システム構築事業

りんご搾汁残渣等のメタン発酵試験や液肥試験を通じて、脱炭素及び循環型農業実現の可能性調査を実施

- ・搾汁残渣等エネルギー化システム構築事業業務委託料
(補正額：774万円)

◇りんご産業SDGs推進事業

りんご産業の現場効率化・省力化及び環境負荷低減に向けた取組を実施

- ・りんご産業SDGs推進事業業務委託料
(補正額：625万7千円)
- ・無煙炭化器購入費 (補正額：563万7千円)
- ・先進地視察旅費 ほか (補正額：36万6千円)

請 願 1 件

○学校給食の無償化を求める請願 …… 不採択

陳 情 4 件 ※陳情書は議員に参考配付しました。

- 庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するよう求める陳情
- 「中小企業支援策の拡充による最低賃金の改善を求める意見書」の採択を求める陳情書
- 国に対し、適格請求書等保存方式（インボイス制度）の延期・見直しを求める陳情書
- 弘前市（津軽エリア）へのパークゴルフ場開設の実現に関する陳情書

市政などについての意見や要望があるときは、どなたでも請願書や陳情書を市議会に提出することができます。請願書・陳情書は、常時、弘前市議会事務局（市役所前川本館4階）で受け付けておりますが、定例会では、開会日の8日前までに提出されたものを原則として審議対象としておりますので、ご注意ください。

なお、市議会議員の紹介があるものを「請願」、紹介がないものを「陳情」として取り扱います。請願書や陳情書の書式参考例については、弘前市議会ホームページに掲載しています。

一 般 質 問

質問・答弁の要約を掲載いたします。

※敬称略。登壇順に記載。文責は質問者にあります。

※QRコードを読み取ると、一般質問の録画映像を閲覧することができます。



木村 隆洋
(創和・公明)



青森県知事選挙の当市への影響は

問 20年ぶりの新知事誕生について市の見解を問う。

答 市では、これまで、市民のため、市の発展のために地域課題に取り組み、広域的な課題に対しては、津軽地域の中心的な役割を担いながら、周辺市町村と一丸となって取り組んできた。また、県は、県民のため、県全体の発展のため県政運営を図っているものと承知をしてい

る。県と市町村の目指すところは同じであると考えており、県に対しても、こうした地域の動きを理解いただき、積極的に後押ししていただくことを期待している。県と市町村との関係性については、地域の発展にとって重要であり、今後もこれまでどおり各種施策を推進していく。

〈その他の質問項目〉

○りんご生産の現状について ○当市のスポーツ環境について



須藤 江利加
(日本共産党)



無料低額診療の薬局適用について

問 無料低額診療を行う医療機関が院外処方箋を発行する場合の調剤費用は、現在減免の対象となっていない。全国では調剤費用の助成を行っている都市もあり、市でも実施すべきと考えるが見解を問う。

答 無料または低額な料金で調剤を行う事業について、無料低額診療事業と同様に、法整備がされるよう引き続き国の動向を注視する。

市営住宅について

問 建設後、何十年も経過しているものが多いようだが、市の対応を問う。

答 昭和39年度から平成30年度にかけて建設され、市公営住宅等長寿命化計画を改定した令和2年3月時点で、延べ面積ベースで全体の約6割超が築30年以上経過。計画的な屋根・外壁改修や給水設備改修等を進めており、今後も入居者の安心・安全な居住環境の確保に努める。



石山 敬
(創和・公明)



「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」の選定について

問 選定までの経緯と今後の取組を問う。

答 当市の「SDGs未来都市」の提案内容は、「りんご産業」を取り上げ、SDGsで重視される経済、社会、環境の三側面を踏まえた革新的なりんご生産に取り組み、農業生産性及び農業所得を向上させ、更には環境負荷の低減に取り組むことで、持続可能なりんご産業の実現

を目指すもの。国の審査の結果、県内で初めて「SDGs未来都市」に選定され、中でも特に先導的な取組として10都市が選定される「自治体SDGsモデル事業」にも、北東北三県で初めて選ばれた。「りんご産業」における経済、社会、環境の三側面の取組を、まちの持続的な発展につなげるだけでなく、共通の課題を抱える全国の果樹産地のモデルとなるよう、先進的な取組にチャレンジしていく。

一般質問の写真は、過去に撮影した写真も含めて使用しています。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



三浦 行
(日本共産党)



令和4年8月の大雨災害に対する支援について

問 被災農家への支援内容について問う。
答 営農の継続に対する支援としては、営農継続緊急対策事業費補助金を創出し、病害虫まん延防止に係る薬剤購入支援や生産資材の購入、浸水した農業用機械の修繕、補植、排水、泥のすき込み、そして農地の取得に対する支援を行ったほか、被災した農家の雇用機会の創出にも留意



畑山 聡
(創和・公明)



民生委員協力員制度について

問 条例ではなく要綱により定められている本制度の概要について伺う。
答 民生委員の負担軽減を図る対策として、平成30年10月より市独自に制度を導入。令和5年6月1日現在、市内21地区56名の協力員が活動。敬老大会や地域ふれあい交流会へご協力等をいただいている。民生委員から負担が軽減した等の声があり、活動量や精神的負担の軽減に効



竹内 博之
(弘前さくら未来)



学校スキーについて

問 スキー学習における保護者の経済的負担について問う。
答 経済的な理由で就学が困難な児童や特別支援学級に在籍する児童の保護者に対しては、就学援助費や特別支援教育就学奨励費として支援する制度があるものの、その費用の大半は保護者が負担している現状にある。
知事選挙における対応と今後について



志村 洋子
(創和・公明)



認知症対策について

問 当市の現状や支援対策について伺う。
答 厚生労働省が発表した全国の認知症の人数の推計を基にすると、当市の認知症または認知症の疑いのある人の人数は1万人を超え、その後も増加していくと見込まれる。行方不明事案発生予防の取組として、認知症に関する正しい知識と理解を持ち、認知症の人や家族に対してできる範囲で手助けをする「認知症サ



工藤 裕介
(弘前さくら未来)



弘前市の農業における持続的発展のための取組について

問 国や県の動きを踏まえ、当市における、人と自然に優しい「環境保全型農業」の取組の現状について伺う。
答 国の「環境保全型農業直接支払交付金」を活用し、有機農業等による環境負荷の低減に取り組む農業者を支援しており、県と県内40市町村が共同で策定した「青森県環境負荷低減事業活動の促進

したところである。

市としては、今後も、農協やりんご協会等の関係機関と連携を図りながら、生産状況の把握に努めるとともに、被災した農家の皆様の営農意欲を大切にしていきたいと考えている。

〈その他の質問項目〉

○インボイス制度が事業者には及ぼす影響について ○新型コロナ2類から5類への引下げについて ○学校給食について

果が認められたと考える。

小学校のスキー授業の保護者及び教員の負担軽減について

問 スキーに比べ安価なミニスキーを利用したスキー指導でも有用と考えるが。
答 小回りが利く等のメリットがある一方、安定性が低い等のデメリットがあり、授業で取り入れることについて、学校や地域の意見を聞き、機能性や安全性を十分に調査研究する必要があると考える。

問 新知事との関係性について問う。

答 県と市町村との関係性については、地域の発展にとって重要であり、今後もこれまでどおり各種施策を推進していく。

除排雪事業に関する総括と今後について

問 令和4年度の実績等を問う。

答 令和4年度の道路除排雪経費は約18億5300万円となり、過去5カ年では令和3年度の約19億3300万円に次いで2番目に多い額となった。

ポーター」の養成に注力しており、認知症高齢者等が住みやすい地域の環境づくりを進めている。また、認知機能が低下し、外出先から自宅への帰宅が困難になりそうな高齢者やその家族への支援として「認知症高齢者たぐいサポート事業」を行っており、帰宅できなくなった方の早期発見と保護に努めている。

〈その他の質問項目〉

○ワケチンの公費助成について

に関する基本的な計画」で、本交付金による取組面積が、環境負荷の低減に関する目標の一つに掲げられた。さらに、有機農業の取組面積の拡大に向け、有機農業に新たに作付転換する農業者を支援する、「有機転換推進事業」が国において創設され、本事業に要する経費を今定例会に補正予算案として提出した。関係団体等とも連携を図り、環境負荷の低減に寄与できるよう、着実に取組を進める。



蛸名 正樹
(創和・公明)



人口減少問題に対する市のビジョン

問 市総合計画等において、どのような展望と対策を掲げているのか伺う。

答 人口減少対策や地域活力の振興など、様々な取組に果敢にチャレンジし、市民との協働や国、県との連携を通じて、将来にわたって持続可能なまちづくりを着実に進めていく。

物流の2024年問題に対する市の対応

問 市の認識と対応を伺う。

答 運送事業者への影響だけではなく、荷主側の民間事業者や農業団体、りんご生産者や消費者にも影響する大きな問題だと認識している。問題解決と持続可能な物流の実現に向けて、国や県、関係団体等と連携し、取り組んでいく。

〈その他の質問項目〉

- 除排雪について (①令和4年度道路除排雪の実績 ②道路除排雪の課題と対策 ③道路除排雪に対する財源)



石岡 千鶴子
(無所属(りんごの会))



さくらまつり期間の変更と露天商との契約について

問 まつり会期の前倒しはできないか。桜が散ってしまった場合でも、出店業者は営業しなければならないのか。

答 会期の前倒しは、まつり関係者に対し、さくらの早咲きに備えた対応に関する調査を行い、その結果をもとに主催4団体で検討する。出店は、出店者で組織される弘前桜まつり協賛会と市で営業に

ついて協議し、対応を決めている。

「種苗条例」を制定すべきと思うが当市の考えを伺う

問 条例化し、厳格に管理すべきでは。

答 県に確認したところ、現在種子や種苗の生産、供給は適正に行われており、現時点で条例化に向けた動きはないと聞いている。市としては、農業者が安心して生産活動に取り組めるよう、今後も種子や種苗の供給状況等を注視していく。



赤平 泰衛
(弘前さくら未来)



当市の除排雪対策について

問 ICTの活用によるバスロケーションシステム導入について市の見解は。

答 当市においては、降雪等により、路線バスが遅延している場合があり、不便を感じる要因の一つとなっていることから、ICTを活用したバスロケーションシステムの導入は有効であると考えており、弘南バスの取組について、引き続き情報共有しながら、連携・協力していく。

生活・仕事応援センターにおける相談体制の充実・強化に向けて

問 センターの相談内容と利用状況は。

答 相談の主な内容である「収入・生活」に関する相談件数は、令和元年度の35件から、令和4年度は約4倍の141件となった。市としては、相談者の抱えている不安や困り事を、しっかりと傾聴し、必要に応じ他機関とも連携のうえ、きめ細やかに必要な支援を行う。



樋川 篤子
(弘前さくら未来)



教育行政について

問 教育環境の向上について伺う。

答 教育委員会で教員が児童生徒に向き合う時間を確保する方策の一つとして学校に対し人的支援を行っており、教員に代わり教材印刷業務等を行うスクールサポートスタッフ、学校生活や学習に特別な配慮を必要とする児童生徒を支援する特別支援教育支援員等を配置している。

ひろさきガイド学校について

問 開校に至った経緯等を伺う。

答 ガイド団体、観光事業者、行政等による意見交換を通して、これまでのガイド育成の手法では対応しきれないといった課題に対し、学校のように勉強ができた進路を指導する、ガイドのための学校を期待する意見を多数いただき、今年度新たに設置することとした。市では、ガイドを通じて市の魅力を体感してもらう体験型観光を、さらに推進していく。

令和5年第2回定例会日程 (26日間) ○傍聴者の数：113人

6月9日(金) 本会議	開会、会期の決定、提案理由の説明、ひろさき市議会だより編集特別委員会の設置	6月20日(火)～6月22日(木) 本会議	一般質問
特別委員会	ひろさき市議会だより編集	6月23日(金) 本会議	一般質問、議案付託
6月10日(土)～6月19日(月)	議案熟考	6月26日(月) 常任委員会	総務、厚生、経済文教、建設
6月16日(金) 特別委員会	ひろさき市議会だより編集	6月27日(火) 常任委員会	予算決算
		6月28日(水)～7月3日(月)	議事整理
		7月4日(火) 本会議	各委員長の報告、質疑、討論、表決、閉会

今年はまだ延べ**155**人が傍聴しています。日程をご確認の上、お気軽にお越しください。



竹浪 敦
(創和・公明)



弘前市健康づくりサポーターについて

問 活動目的を伺う。

答 市民の健康意識の高まりや行動変容につながることを目的に創設した。健康づくりサポーターの地域に根差した草の根的な活動が、健診受診率の向上や生活習慣の改善に大きく寄与するものと期待しており、「健康都市弘前」の実現において重要な役割を担うものと考えているため、健康づくりサポーターと連携を強化し、

市民の健康づくりを推進していく。

福祉用具の導入について

問 介護保険が適用になる申請の手順や国の基準を伺う。

答 介護度が要支援、要介護1である、軽度者といわれる方は、一部の福祉用具は原則給付対象外となっているが、心身の状態により利用が必要だとケアマネジャーが判断した場合には、市へ事前に申請することで利用できるものである。



外崎 勝康
(創和・公明)



少子化対策について

問 市の推移分析と対策等について。

答 令和4年の出生数は863人で、平成15年の1,435人と比べ572人減。出生率は、平成15年は7.5で、令和3年は5.6に減少。市総合計画後期基本計画で、基準値である令和2年度の婚姻率3.3を、令和8年度には4.0にすることを目標としている。

特別支援教育支援員について

問 必要人数と実態数等について伺う。

答 本年度は、小学校からの要望数28校76名に対し19校に31名、中学校からの要望数6校7名に対し5校に5名を配置。

りんご園の土壌管理について

問 適切な管理について市の所見を伺う。

答 自治体SDGsモデル事業の無煙炭化器導入実証事業で、無煙炭化器で生成された炭を試験活用し土壌成分への効果検証を行う予定。生産者の土壌管理に対する意識啓発の効果も期待している。



松橋 武史
(櫻鳴会)



教育行政について

問 教職員からの児童生徒への虐待等について。

答 市立小・中学校の過去5年間の体罰等は、小学校6件、中学校7件の計13件。

問 ボールなどの備品管理の実態について。

答 物品管理員に学校長を充てて管理。また、一部を除く総額5万円以内の物品の調達及び修繕の権限を学校長に委任。

各校で日常的、定期的な点検及び管理をすることで、老朽化等が認められる物品に早急な対応ができるよう、購入等を相談しやすい環境をこれまで以上に整える。

建設工事入札について

問 現在の入札契約制度は。

答 特定の入札参加者が一度に複数落札しないよう工夫。国や県の制度変更を注視し、関係団体と意見交換を重ねながら、より公正・公平な制度及び運用を目指す。



千葉 浩規
(日本共産党)



危険・有害ごみの処理について

問 弘前地区環境整備事務組合では、令和6年度からの危険物処理装置稼働を予定しているが、来年度以降の危険・有害ごみの分別方法について答えよ。

答 危険ごみの穴開けしない分別収集について、弘前地区環境整備事務組合の構成市町村において協議した結果、令和6年4月から前倒して実施することで合意した。現在、令和6年度からの危険ご

みの分別収集に向け、スプレー缶、カセットボンベ、ライターについて、安全で効率的な収集方法等を最終調整している。有害ごみは、乾電池、蛍光灯、ボタン電池、充電式電池について、津軽地域ごみ処理広域化協議会の構成市町村で統一した実施を目指し、引き続き協議する。

〈その他の質問項目〉○マイナ保険証○野良猫対策○旧弘前市立病院整備○在宅心身障がい者タクシー等利用券の再交付

木村隆洋	千葉浩規	野村太郎	外崎勝康	尾崎寿一	蒔苗博英	松橋武史	石岡千鶴子	三上秋雄	佐藤哲	工藤光志	清野一榮	田中元
○	●	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
○	●	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
●	○	●	●	—	●	●	●	●	○	●	●	●

令和5年第2回定例会審議結果

※議会での慎重審議により、可決となりました。

市長提出議案：13件

予算関係：3件、条例関係：7件、その他：3件

全国市議会議長会 議員表彰

全国市議会議長会より永年勤続表彰があり、7月4日の本会議で以下の議員に対し、表彰状の伝達が行われました。

特別表彰

在職20年以上
田中 元 議員



会派一般行政視察

櫻鳴会

令和5年7月10日(月)～12日(水)

- ①沖縄県石垣市
○第2次石垣市観光基本計画について
- ②沖縄県那覇市
○なは I T 人材育成特区について



石垣市議場にて

定例会一般質問等のラジオ放送

本会議の傍聴やインターネットでの中継視聴ができない方のため、ラジオ放送もしています。FMアップルウェーブ(周波数78.8メガヘルツ)で、一般質問等の様子を当日午後8時から放送します。

※緊急時、災害時には変更される場合もあり。

表紙の写真大募集!!

- ◎テーマ 弘前市内で撮影された写真(風景・まつり・イベントなど)
- ◎規格 デジタル写真データ(JPEG形式、サイズ1MB以上、横撮りのみ)
- ◎応募資格 弘前市に在住・在勤・在学の方
- ◎応募方法 写真のタイトル(10文字以内)・撮影場所・撮影日・住所・氏名・電話番号を明記の上、メール、郵送、持参。
※メールの場合は、件名に「だより表紙写真」と入力してください。
- ◎締め切り 締め切りは令和6年1月10日(水)です。また、応募写真が必ずしも採用されるとは限りません。
- ◎掲載時期 令和6年3月発行予定の第77号

ひろさき市議会だより編集 特別委員会を設置

6月9日の本会議において、新たな委員5名をもって構成、設置されました。本号から下記の委員で編集してまいりますのでよろしくお願いいたします。

(委員構成)

◎竹浪 敦 ○工藤 裕介 三浦 行
坂本 崇 野村 太郎

※敬称略。◎は委員長、○は副委員長。

委員は議席番号順に記載。



編集会議後に委員全員で

委員会等活動報告

ひろさき市議会だより編集特別委員会

6月16日(金) 市役所

- ①弘前市議会「議会だより」発行に関する申し合わせ事項について
- ②弘前市議会「議会だより」一般質問等の編集方針について
- ③その他

7月4日(火) 市役所

- ①掲載内容について
- ②編集日程について

「ひろさき市議会だより」について、ご意見・ご感想などがありましたら、今後の参考にさせていただきますので、電話・ファクス・メールなどでお気軽にご連絡ください。(連絡先は右上にあります。)

議 会 を 傍 聴 し ま せ ん か

議会(本会議、委員会など)は原則、どなたでも傍聴でき、市役所前川本館4階で受付しております。本会議及び予算決算常任委員会は、インターネット中継でご覧になれるほか、市役所前川新館1階市民ギャラリーにモニターテレビを設置し、中継放送もしております。

次回定例会日程(予定)

- (8月18日(金)) 議会運営委員会 会期日程等の協議
- 8月25日(金) 開会日(本会議) 開会、会期の決定、提案理由の説明
- 9月22日(金) 閉会日(本会議) 各委員長の報告、質疑、討論、表決、閉会

※日程、傍聴の取扱いについては、議会開会前にホームページ等でご確認ください。



ひろさき市議会だよりは環境にやさしいインキを使用しています。